

もろみ酢—ビタミンEの比較研究

心理検査の結果総括

○もろみ酢摂取群のみ変化が認められた項目

POMS A-H (敵意—怒り)

→もろみ酢、ビタミンE群の群間に数値の差は認められませんでした。もろみ酢群のみにおいて、投与前と比較して投与後には敵意感情、怒りが軽減するという結果が得られました。

もろみ酢の摂取によって情緒的な安定が得られるという可能性も考えられます。

○もろみ酢群、ビタミンE群に共通して測定時期に関連して変化した項目

GHO 精神健康調査票

- ・ 総合得点

投与前と比較して投与後には総合得点の低下がみられました。つまり、本人が自覚する精神的健康が改善したことがわかります。

- ・ A得点 (一般的疾患傾向)

一般的疾患傾向に関する自覚では、投与後と比較してW. O. 期間 (投与中止後) に上昇していることが示されました。

POMS

- ・ F (疲労)、T-A (緊張、不安)、D (抑うつ)

投与前と比較して投与後には疲労、緊張、不安の自覚症状が改善していることが示されました。この点に関してはビタミンEと同等の効果が得られると解釈出来ます。

- ・ V (活気)

投与後と比較してW. O. に有意な活気の低下が認められます。全体の傾向としては投与前から投与後に上昇、W. O. に低下するようではあります。

心理的な影響としてはには継続摂取の方が良いということが考えられます。

○今回の研究において変化が認められなかった項目

GHQ

B (身体症状)、C (睡眠障害)、D (社会的活動障害)、E (不安・気分変調)、F (希死念慮、うつ)

POMS

C (混乱)

TEG (性格検査) の全項目

A, AC, FC, NP, CP